

喧嘩の罰で男女2人組が黒板の前で全裸にさせられる話

教室の後ろの方で、二人の生徒が激しく口論を繰り広げていた。優太は背が高く、スリムでスポーツマンらしい雰囲気を持ち、少し挑発的な目つきが特徴の男子生徒。彼はバスケットボール部で、鍛え上げられた身体を持つが、今はその体から放つ威圧感を喧嘩に使っていた。対する海香は、身長は平均的だが、その美しい容姿と大人びた雰囲気でクラスでは目立つ存在だった。彼女の髪は長く、黒髪が肩にかかり、瞳は鋭く、言葉には刺が感じられる。彼女は文学部で、知的な雰囲気と美貌を兼ね備えていた。

「あの日、約束を破ったのはおまえだろ！」と優太が声を荒らげた。海香は一言も引かず、「自分さえ良ければいいってあんたが考えなきゃこんなことにならなかったでしょ！」と反

論する。二人は机を挟んで互いに睨み合い、手が机に叩きつけられる音が響いた。教室の他の生徒たちは、二人を遠巻きに見守っていた。

「うっせえよブス！調子乗んなよブスのくせに」「誰がブスだっていうの！？あんたの顔に比べたら、私なんてまだマシじゃない！」と海香は返す。「お前はブスでさらに貧乳だもん！情けねえ」「あんたこそ、脳みそもチンコも小さいのよ！」

その時、先生が教室に入ってきた。厳格な表情で二人を見つめ、「何を騒いでいるんだ！？」と大声で問いかける。二人は一瞬だけ動きを止め、互いに視線を交わし、次いで先生を見た。「こんなところで喧嘩とは何事だ！これは罰せざるを得ない」と先生は宣言した。

優太と海香は黙り込むが、先生は続けた。「喧嘩の罰として、二人は黒板の前に出て、全裸になれ。すぐ始めなさい。」クラスメート

からは驚きの声が漏れた。誰かが「マジで！？」と叫び、別の生徒は「そんな…」と呟いた。

「それは無理です！」と優太が即座に反抗する。「何が無理だ！？規則を守れ！」と先生。海香も「私も無理！みんなの前で服を脱ぐなんて人権侵害！」と怒りを露にするが、先生は「これは罰であり、教育だ。反抗すれば更に厳しい処置が待っているぞ」と言い放つ。

優太は仕方なく、制服の上着のボタンを外し始めたが、手が震えている。心の中では「海香のあのクソみたいな言葉、絶対に許さない…」と思いながらも、彼女の存在を感じると一瞬心が揺れた。まずは上着のボタンを一つずつ外し、シャツが露わになる。シャツのボタンも震える手で外すと、胸板が見えた。「こんな目に遭うとは…」と内心で呟く。

次にベルトを外し、ジーンズのボタンとファスナーを開く。ジーンズをゆっくりと下ろすと、トランクスが現れる。クラスメートから「う

わっ...」という声が漏れる。そして、恐る恐るトランクスに手をかける。下ろすと、少しずつおちんちんが見えてきた。完全にトランクスが下ろされると、おちんちんが完全に丸出しになった。海香はその瞬間、「...」と言葉を失い、視線を逸らす。彼女の顔は赤く染まり、「信じられない...」と小さく呟いた。女子たちからは、「えっ...」「まじで...」といった驚きや恥ずかしさの声が聞こえた。男子たちからは、「やべえ、本当にちんこ出した...」という声が漏れていた。